

「クラウドによるデータ保管」

2014/2/28 小出 真司

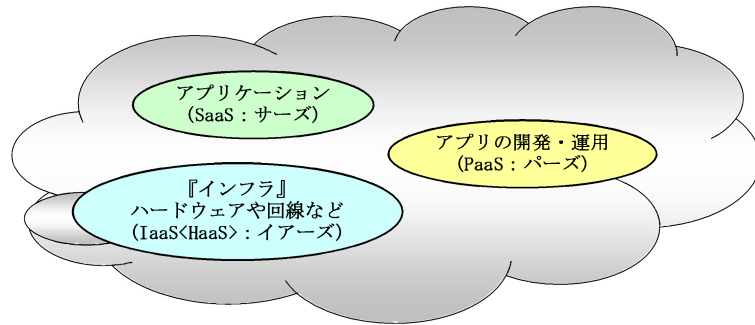
1. はじめに

人によってはすっかり定着した「クラウド」またはクラウドって何？て方もいるでしょう。

「クラウド：cloud=雲」という意味でここで言う「クラウド」とは、クラウドコンピューティングを略したものであり、身近なサービスで例にとるとYahoo!メールやGoogleメールもクラウドサービスである。厳密にはネットワークも含むのではあるが、特にインターネットをベースとしたコンピュータ資源の利用形態を指す。

2. クラウドサービス

最近では、自宅、会社、ネットカフェ、学校、図書館、外出先など、さまざまな環境のパソコンや携帯電話(主にスマートフォン)からでもデータを閲覧、編集、アップロードすることができるサービスを各社始めている。



我々の鋼橋業界では

(株)フォーラムエイト

UC-1 for SaaS FRAME面内

UC-1 for SaaS FRAMEマネージャ

UC-1 for SaaS RC断面計算 Ver. 2 (平成24年道示対応版)

スパコンクラウド IaaSサービス

(株)JIPテクノサイエンス

MEAS 鋼桁橋の詳細設計製図システム HyBRIDGE(JIP-LINER、JIP-SPACER)

鋼製橋脚の詳細設計システム STEEL-PIER

いつものごとくサービスが少なく、あいかわらず世の中の流れに遅れてる？ようだとことアプリとなると開発しても売れる本数が限られてるので商売が難しいのであろう。

3. クラウドサービス導入のメリット・デメリット

良い点： IT担当者または部門の負担軽減
 サーバー機器・ソフトを購入しなくていい
 システム構築して稼働までの時間を短縮
 メンテナンスの軽減(不要?)

悪い点： 状況に応じてのカスタマイズがしにくい
 契約先のサービスの安定的な稼働に対する不確実性がある

4. クラウドでのサーバー保管サービス価格

	通信N社	F電気会社	Google	Bitcasa(個人)
1GB	16,000	—	50	無料
10GB	70,000	7,000	330	無料
100GB	100,000	8,500	3,300	—
500GB	160,000	64,500	16,500	—
1TB	210,000	—	33,800	1,000
無制限	—	—	—	10,000

・無限容量ストレージのBitcasa:

設立2011年米加州(H25.8日本でのサービス開始)

ユーザデータ18PB(ペタバイト), あっという間に114か国にまたがる国際企業となる
 PB(ペタバイト): 1,125兆B(バイト)=1,024TB(テラバイト)

・Googleの「Google Cloud Storage」

サービスは開始まもなく資料が少ないため参考値

4. 最後に

大手はもちろん海千山千の会社も含め中小企業向けのサービスは開始されたばかりなので、まだまだ不明なことが多い。また、問題点も2つほど考えられる。

第1点: 当社のような特に顧客情報管理や商品管理のデータではなく構造物の設計計画データを扱う場合には関連資料も含め、会社規模からすると不釣合いなほど大きなデータをクラウド化することになる。

第2点: 保管データは手元を離れ自分のマウス・キーボード入力から PC → LAN回線 → ハブ→ファイアウォール → インターネット網 → インタネット契約プロバイダのサーバー → インターネット網 → クラウドサービスの会社のサーバー という長い道のりを経て保管されることとなり、どこでなにが調子が悪くなるかわからない。

現在のサーバーはリースを開始したばかりで早期に結論を出す必要はないのではあるが、先の問題点を踏まえこれから出てくるであろう中小企業用クラウドサービスに注意を払ってほしいと思う。